



# 株式会社 DigiTaste

● 液体状態解析プラットフォーム開発

知識  
製造業  
宣言

Liquid-to-Action: あらゆる液体状態の  
可視化から「次の一手」を導き出す

## 特徴

- ▶ EIS × AI 技術で、既存センサーでは不可視な液体の「状態」を 10 秒で特定
- ▶ 専門的な分析と現場測定の間を埋める小型センサー「DigiTaste」を開発
- ▶ 測定して終わりではなく、「次に何をすべきか」の判断と行動を支援

## 解決したい課題、実現したい未来

従来の pH や Brix 等の汎用的な測定計では液体の複雑な状態を捉えきれず、一方で高価で高度な分析器は現場で扱いできません。我々はその複雑な液体の状態を、10 秒で低コストに特定します。食品、農業、医療等の液体と向き合う現場で誰もが専門家レベルの判断を下せる「Liquid-to-Action」な世界を目指します。

## 注力したい領域

- エネルギー・環境・資源
- 健康・医療・生活
- 食料・農林水産
- 海洋・宇宙
- 情報通信
- モビリティ
- インフラ・住宅

## 製品・サービス、強み

「DigiTaste」は、pH や糖度といった単一要素を定量化するのではなく、液体の複雑な「状態」を捉える AI センサーです。既存の簡易センサーでは見落としてしまう品質のブレを、数十以上の多次元の電気特性スペクトルとして記録し、機械学習で評価します。「正確だが高価で現場で使えない大型分析器」と「手軽だが不十分な既存の小型分析器」の間をうまく埋めるようなセンサーを提供します。測定から 10 秒で、誰でも即実行できる「具体的なアクション」を導き出せるような、あらゆる液体の状態の可視化を実現させます。



DigiTaste センサー

## コミュニケーション からひとこと



内田 早紀

筑波大学大学院の博士課程の研究を起点とした小林さんのプロダクトが、ついに会社化により外部との共創が可能に。技術の応用範囲は液体が存在するところならば無限大です。食品領域はもちろん、環境インフラなど液体関連で課題を持つ企業や、本センサーの改良・量産でコラボできるような企業の皆さん、ぜひ一緒に議論しましょう！

## ■ 会社概要

代表者 …… 小林 彰人

創業/設立 …… 2024年10月5日/  
2026年2月22日

資本金 …… 1,000,000円

事業内容 …… EISとAIを用いた液体解析プラットフォームの開発・提供、および液体データの収集・分析

従業員数 …… 2名

所在地 …… 東京都町田市小山ヶ丘6-5-1-810

WEB …… <https://www.digitaste.co.jp/>

その他 …… 博士(工学) (筑波大学) / フードテックグランプリ2024 最優秀賞 & UnlocX賞 / 国際会議 IEEE GCCE 2024 Excellent Demo! Awards Silver Prize / Foodtech Venture Day Neo 2024 ベースフード賞 / 未踏アドバンス2025



(右) 代表 小林彰人